



さくら 2013 秋

発行
社会福祉法人 東桜会
第41号

〒420-0962
静岡市葵区東 527 番地の 1
特別養護老人ホーム 麻機園
TEL 054(247)8739
FAX 054(247)8640

益田久子さん 100歳おめでとう

益田久子さんは9月14日、100歳のお誕生日を迎えました。100歳を迎えることは誰もができる事ではなく、本当にすばらしい事だと職員一同感じています。

益田久子さんの100歳の会は、御身内や多くの入所者の方々に囲まれて温かい会になりました。御身内の方から入所する以前のエピソードなどを聞き、私たちの知らなかった一面を知ることもできました。

私達職員にニコニコといつも笑顔で接してくれる久子さん。その笑顔を見て、がんばることができた職員は多くいます。来年、再来年と、笑顔と一緒にお誕生日をお祝いさせていただきたいと思っています。

100歳のお誕生日本当におめでとうございます。

麻機園 寮母 板倉愛



敬老会が開催されました

9月14日、まだ厳しい残暑の中、麻機園敬老会が開催されました。入所者の皆様は、素敵な衣装にお化粧をして参加されました。

第一部の式典では、理事長、園長の挨拶に続き、静岡市長から送られたお祝いの言葉が披露されました。敬老のお祝いの贈呈では、長寿102歳の大石志づさん、満100歳の益田久子さんと里見とし子さんには理事長より、その他の敬老対象者の方々には園長よりお祝いが贈られました。その後、入所者を代表して米寿を迎えられた石割従子さんが謝辞を述べられました。



第一部式典

第二部では、「五反田楽友舞」さんによる七福神と「鼓竜」さんによる和太鼓演奏、「麻機園新人職員」によるソーラン節が披露されました。縁起の良い七福神の舞と、迫力がありテンポの良い和太鼓の演奏、派手なハッピーを着て所狭しと踊った新人職員たちに入所者からは大きな掛け声や手拍子が沸き起りました。



第二部アトラクション

第三部の食事会は、各々お酒やジュースを手に「乾杯！」の掛け声により始まり、うなぎやエビの手毬寿司や、茶碗蒸しなどのお祝いの膳が振る舞われ、「美味しいよ。こんなにたくさん食べられるかな。」と皆様に喜んでいただくことができました。

私たち職員は、入所者の皆様と一緒に過ごさせていただけることをとても素晴らしいことだと思っています。園長の挨拶に「来年もまた笑顔でこの日を迎えられますように」とありました。一日一日を大切に、皆様に穏やかに、そして楽しく過ごしていただけるよう、職員一同心懸けていきたいと思っています。入所者の皆様、本当におめでとうございます。

麻機園 寮母 山本夕加里



第三部食事会

新人職員紹介



はじめまして。9月より生活相談員として勤務しています。今は皆さんのお名前とお顔を覚えることで精一杯の毎日ですが、早く皆さんのお役に立てるように頑張りたいと思います。そして、皆さんに私の顔と名前を覚えていただけたら、幸いに思います。どうぞ、よろしくお願いします。

麻機園 生活相談員 後藤浩之



9月17日から麻機園で事務員として働かせてもらっています。福祉施設で働くのは初めてで分からないことばかりですが、一生懸命頑張りますのでよろしくお願いします。

麻機園 事務員 小野田武留

ケアハウス「桜花」便り ~つぶやき~

『新しい朝が来た!』

「8時40分より1階でラジオ体操を始めます」と職員が放送すると、時間に間に合うように入居者のみなさまが1階に集まり始めます。ケアハウス桜花では毎朝この時間にラジオ体操を行っています。始めた当初は職員と入居者数名で寂しい感じもしましたが、回を重ね少しずつ参加者も増えてきました。第1体操のみだった体操も、「なんだかもの足りないね」という声から第2体操を続けて行うようになりました。ラジオ体操は戦前から広まっていたようで、入居者も間違えなく見事なフォーム!筋力低下を防ごうと頑張る入居者の方も、ダイエットが必要な職員も一緒にこの10分ほどの交流を楽しんでおります。これから涼しく、そして寒い時期になりますが、引き続き毎朝ラジオ体操をしながら「新しい朝、希望の朝」を感じましょう!



ケアハウス桜花 生活相談員 佐藤勝洋

デイサービス通信 ~我らの人生これからだ~

空にいわし雲が広がり、秋らしい天気になってきました。秋といえば、“スポーツの秋”ということで、デイサービスでは運動会を開催!絵合わせ競争・パン食い競争、段ボールくずしを楽しみました。普段おしとやかな利用者さんも、子供に戻ったようにはりきって玉をぶついたり、大きな口を開けてパンにかぶりつき、笑い声が響き渡りました。

デイサービス 生活相談員 望月昭子



「新しいチャレンジ」

機能訓練指導員 藤浪 亮

私は麻機園に入職する前、名古屋の治療院で柔道整復師として働いていました。柔道整復師とは接骨院で働ける資格のことで以前はスポーツ選手に関わる仕事が多く、怪我をした人を治すことが主な仕事でした。昨年の十月から縁あって麻機園にお世話になることになり、僕にとつて、「高齢者施設」は初めての経験で新しいチャレンジとなりました。スポーツ選手と違い高齢者は思うように身体を動かせず、負荷をかけたぎれば怪我に繋がってしまうなど戸惑うことばかりでした。

初めの頃は本当にこの仕事が自分に向いているのか、他にやりたいことがある、と正直思うことがありました。そんな時やりがいを戴いたのは入所者のみなさんからでした。歩行訓練では片麻痺があるにも関わらず「家に帰りたい」との理由で毎日のように頑張っている入所者さんや、十六時三十分から行っている集団レクリエーションでは、1時間も前から場所取りをして楽しみに待っていてくれる大勢の入所者さんがいます。百一歳になる入所者さんも、「先生、今日は体操やるよね?」と声をかけてくれます。そんな入所者さん達の為に「自分でも出来ることがある!」と思えるようになりました。

入社して一年とまだまだ未熟ですが、自分が少しでも力になれることがあるのならばチャレンジしていき、みなさんが明るく元気に生活していけるように援助していきたいです。